

## 平成22年度学校関係者評価書

| 評価項目   | 関係者評価  |
|--|--|
| ① 保育の計画性   | 園の教育理念・教育方針の理解、また幼稚園教育要領の理解もほぼしている。それに沿って保育を計画し、指導している。  |
| ② 保育のあり方<br>幼児への対応   | 園児全体の中で子どもたちを一人一人よく理解し、適切に保育し、指導している。<br><br>英語教室、武道・礼儀教室、お寺でのガマン会など、いろいろな教育をしていることはとてもよいことだと思うが、なによりも心の教育(思いやり・やさしさ・感動する心)に重点を置いてほしい。また、教師にも心豊かな保育をのぞみたい。 |
| ③ 教師としての資質<br>能力、適正等   | 教師としての資質や能力、良識についてはよいほうだと思う。幼稚園の教諭としては適正である。   |
| ④ 保護者への対応  | 保護者への対応についてはよく気を配り、適切におこなわれていると思う。   |
| ⑤ 地域の自然や<br>地域との関わり  | 挨拶は元気よくしているようだ。<br><br>地域のおじいさん、おばあさんの集まりにもっと頻繁に参加してほしい。昨年、年長組が地域の老人会の集まりに参加したときは歌を歌ったり、ゲームをしたり、とても楽しい時間を過ごした。   |
| ⑥ 研修と研究  | 研修会や研究会には進んで参加している。反面、自園での研究は行われていない。  |
| ⑦ 外部アンケート  | 教職員、幼稚園に対しましてもとても好意的に評価されている。  |
| <b>今後取り組むべき課題とは—</b>   |  |
| <p>引き続き「誰にでも元気よく挨拶のできる子に育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日、挨拶をするよう、園児に話をする。</li> <li>・挨拶のできない子供たちにその都度声をかける。</li> </ul> <p>「心豊かな子どもを育てる」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・花や野菜を種や苗から植え、水やりなどの世話をすることにより、花が咲く喜び、収穫の喜びを味わう。そのことを通していのちの尊さや美しさ、ものごとの変化に感動する心を養う。</li> <li>・年上の児童が年下の児童をかわいがったり、遊んだりしてくれる「たての保育」をする。</li> </ul> <p>「偏食をなくす」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・畑に多くの野菜を作り、園児に水かけなどの世話をしてもらう。その結果できた野菜を皆で収穫し、収穫の喜びを味わうとともに、調理して食べる。流通しているものよりも鮮度がよく、おいしい野菜を食べることによって、偏食をなくす。自分たちで大切に育てた野菜なので、食材に対する興味や関心も増すことと思われる。</li> </ul> |  |
| <b>関係者のコメント</b>  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長クラスになったら、一人につき一つ花を植えてもらい、花が咲くまで責任もって世話をしてもらいたい。</li> </ul>   |  |